

第2回国際宇宙探査フォーラム (ISEF2) について

資料38-5-1

科学技術・学術審議会
研究計画・評価分科会
宇宙開発利用部会
(第38回) H29.10.18

背景・経緯

- 2009年から、欧州のイニシアチブにより、国際宇宙探査における国際協力を促進するため、閣僚級を含む政府レベルでの対話・意見交換を行う会合（宇宙探査ハイレベル会議）が3回開催。
- 米国での開催が決定していた第4回会合について、国際宇宙探査フォーラム (International Space Exploration Forum: ISEF) として2014年に開催。
- 日本から下村文部科学大臣が出席し、次回会合は日本が主催することを表明。



《参考》

第1回国際宇宙探査フォーラムの概要

【場所】米国 ワシントンDC

【日時】平成26年1月9日(本会合)、10日(関連イベント)

【参加国・機関等】35か国・地域・機関

【日本からの出席者】下村博文 文部科学大臣(当時)、
奥村直樹 宇宙航空研究開発機構(JAXA)理事長 他

閣僚級会合

《参加者・参加国等》

各国・地域等の宇宙分野の閣僚級を含む政府ハイレベルの関係者等(60か国・500名程度)

《目的》

人類の活動領域の拡大、人類共通の知見・経験・利益の獲得への挑戦である宇宙探査について、ハイレベルの政府関係者による対話を通じ、宇宙探査の重要性や宇宙探査における国際的な協力・協働の重要性等を共有し、国際宇宙探査の持続的な進展を促す。

期待される成果(案)

- 国際宇宙探査の共通原則の共有
- ISEF運営規約の策定
- 共同声明／フォーラムサマリー



ISEF2 開催概要

《開催時期》

2018年3月3日(土)

《場 所》

東京

《会合内容》

閣僚級会合

※閣僚級会合の前にサイドイベントを開催予定

サイドイベント【詳細は資料38-5-2を参照】

①産業界向けイベント

- 宇宙探査への参加に興味を持つ非宇宙産業、宇宙探査について新規取組を行うベンチャーを含む国内外の企業、投資家等の産業界(300名程度)に加え、一般聴衆(100名程度)が参加し、将来の宇宙探査活動について議論することで、宇宙探査推進の機運を高めるとともに、宇宙ビジネス拡大につなげる。

②若手向けイベント

- 国内外の学生・企業の若手(80名程度)が参加して、宇宙探査について闊達な意見交換を行い、次世代を担う若者のキャリア形成やネットワーキング、宇宙に対する興味喚起の機会を提供する。